

業界初。 グリーン鋼材※を採用

※ 日本製鉄株式会社のGXスチール「NSCarbolex Neutral」

プレセッターSU梁受金物に、環境価値を付加しました。



※シンボルマーク・NSCarbolex®は日本製鉄株式会社の登録商標です。



グリーン鋼材(GXスチール)とは

近年、脱炭素社会の実現に向けて、製造時のCO₂排出量を削減した「グリーン鋼材(GXスチール)」が注目されています。

鉄鋼製造プロセスでは多くのCO₂が排出されますが、製造プロセスの見直しにより、CO₂排出を削減した鋼材が開発されています。

性能や品質は従来材と同等でありながら、削減価値を反映できる点が大きな特長で、建築分野においても、材料の選定に「環境性能」という新たな視点が求められています。



NSCarbolex Neutralとは

NSCarbolex Neutral は、日本製鉄株式会社が実施した追加性のある削減プロジェクトによるCO₂等の温室効果ガスの排出削減価値を反映したGXスチールです。

一般社団法人日本鉄鋼連盟が制定する「GXスチールガイドライン」に準拠しています。



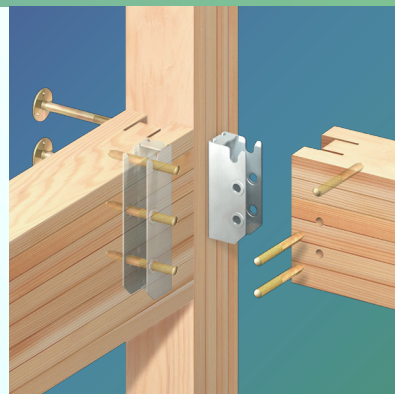
※シンボルマーク・NSCarbolex®は日本製鉄株式会社の登録商標です。

プレセッターSU梁受金物が、より環境にやさしく進化しました

建築分野においては、2028年度より建築物LCA制度の開始が予定されており、構造材や外装材など主要部材におけるCO₂排出削減が求められています。

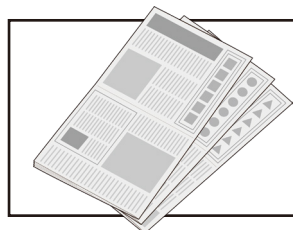
こうした背景を踏まえ、当社では木造住宅や中大規木造建築まで、幅広く使用されている「プレセッターSU梁受金物」に、日本製鉄株式会社のGXスチールを採用しました。

これにより、「機能・品質・環境価値」を両立した建築の実現を目指しています。



環境配慮という新たな価値を付加

プレセッターSU梁受金物に、GXスチール「NSCarbolex Neutral」を採用することにより、排出削減量は、スギの年間CO₂吸収量に換算すると、約10万本分に相当します。(スギ1本当たりの年間CO₂吸収量8.8kg換算)



メディアにも
掲載されました

2026年2月24日 日刊木材新聞
2026年4月3日 鉄鋼新聞
2026年4月3日 日刊産業新聞

